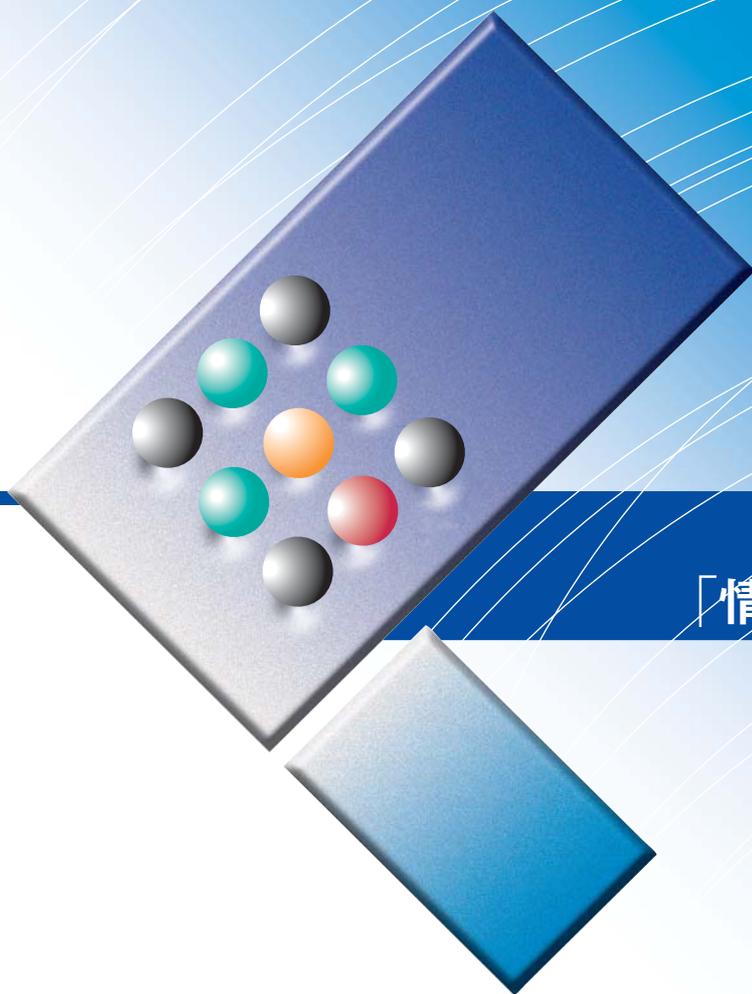


「情報化社会と交通」研究会

報 告 書

平成14年4月

「情報化社会と交通」研究会



巻頭言 (石井威望 座長)

研究会 構成員

研究会 検討経緯

1. はじめに 01

2. ITと交通の関係 02

(1)・・・交通における情報通信の位置付け 02

(2)・・・交通と情報通信の関係 03

(3)・・・従来の情報化と昨今のIT革命 04

(4)・・・進化する情報化社会に交通を適応させていく施策の必要性 05

3. 今後の交通情報化の展望 06

(1)・・・21世紀初頭の高度情報化社会の姿 06

ブロードバンド時代の到来

モバイル・ウェアラブル情報端末の普及

位置情報との組み合わせ

(2)・・・IT革命の分析 09

情報の個人化

時間的・空間的制約の解消

流通段階の効率化

(3)・・・21世紀の社会の要請 10

少子高齢化の進展

環境制約の高まり

安全の確保への要請

グローバリゼーションの進展

個人中心型社会の到来

(4)・・・交通情報化の基本的方向 13

公共交通の「私的」交通化

公共交通と私的交通の連携

マクロの最適化

社会の要請への対応

移動時間・空間の有効利用、多目的化

(1)・・・IT革命の恩恵を最大限享受しうる

21世紀型交通社会実現のための前提となる課題 17

ITインフラの整備の重要性

モバイル情報端末に係る技術開発

情報セキュリティ対策

プライバシーの保護

デジタルデバイド対策

インターオペラビリティの確保

(2)・・・今後の交通情報化の具体的な方向性及びその実現のための方策 19

ITSの推進

公共交通の利便性の向上

ITの活用による交通需要の調整

位置情報との組み合わせによる人間生活のサポート

ITを活用した新しい輸送形態の出現

移動過程を楽しみ、知識を創発する交通

高齢者・身体障害者等の移動制約者対策の充実

環境にやさしい交通の実現

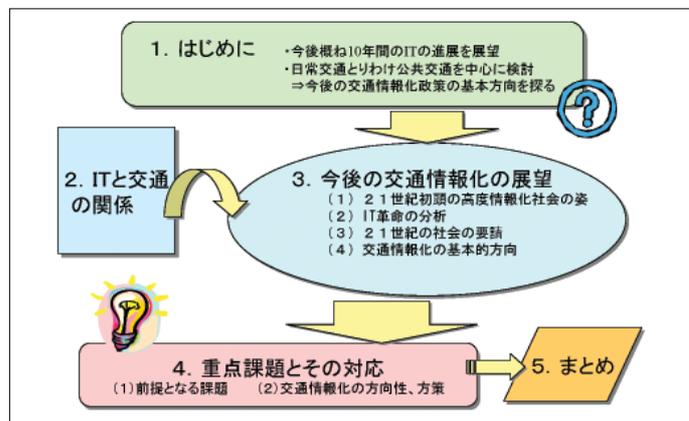
交通の安全性の向上

観光事業、旅行業の新たな展開

物流の革新

電子政府の実現

報告書の構成



巻頭言

「情報化社会と交通」研究会報告書の とりまとめに当たって

東京大学名誉教授 石井 威望
(研究会座長)



このたび、「情報化社会と交通」研究会報告書がとりまとめられることとなりました。

IT革命が進展する中で、現在、ITに関するさまざまな調査研究が行われていますが、「ITと交通」という切り口で本格的な検討を行なった研究は、他にあまりないのではないかと思います。しかし、報告書の中でも述べていますように、交通と情報通信の間には歴史的にも強い結びつきがあり、IT革命の下で、交通は、これからも大きな変貌を遂げていくのではないかと考えられます。そこで、今回、交通の情報化に関する各方面の有識者、実務家の方々にお集まりいただき、このテーマについて、多角的に検討し、その結果を報告書にした次第です。

交通は、私たちの日常生活に大きなかわりを持っています。したがって、交通がITの力によって改善できれば、私たちの生活は、今よりもより快適で利便性が高く安心できるものになるはずです。本報告書が、そうした改善を進める上で一助になれば、幸いです。